

すぎーね👍

や、はっ！ いじめるはこの世からなくなるといふことだと思っております。

●どんなに仲の良い友達としても、マナーはまもったん 思いやりをわすれなうにする。

いじめには「いじめられていい理由」と「いじめていい理由」のどちらも存在しないことがわかった。

今回の授業でいじめについてワウスなどのいじめが起きやすい空間で一時間だけでもみんなで考えることが大切だと思った。

親しき仲にも礼儀ありを心に友達と笑ひあひたいなと思ひます。

今日の授業を通して、いじめはどんな理由でもしてはいけないことがわかった。自分の一言や一つの行動で大切な友達をなくすかもしれないので気をつけたいと思った。

いじめでよくあるのは、自覚がなく相手を傷つけることです。人は時には言葉のナイフで相手をかたんに傷つけてしまいます。被害者は人によらず、辛い辛い人とかかわることを恐れてしまうことがあります。場合によっては怒りで被害者が加害者になり、まるきりない傷つけあいになってしまいます。自分の言葉と行動は冷静になって考えれば、ナイフが人をあたりの人やきいものになるので、普段から言葉のあつかいには気を付けていこうと思いました。

正直なところ、赤の他人に手をさしのべてあげることには出来ないと思う。だからこそ、自分の周りの人には何か出来るのが、何かためなのを考え、行なっていくことが大事だなと思い、社と「いぬ」が起きる理由の一つとして、自分の老と相対者の差があるところから立ち上がり、話し合うことも大事なことでうなづいた。

いいのはSNSを通してあって、写真とかは一瞬あつてしまうともう一生消えなかつたので、自分を束縛のために、写真などはSNSにあげない、投稿しない方がいいんじゃないかなーと思つた。

いじめは小さなことから始まり、周りが気付かずに被害者のSOSがきこえなくなってしまうから、よく周りを見て行動することが大切だと思った。

今日は、いじのについて考えて、自分は楽にでも相手はいやだと思っているかもしれない、
人それぞれ考える、言葉の伝え方はちがうから、インターネットで友達と話す時も相手の
いやな気持ちを知らずにいかにしゃべって文章をおくろうと思った。相手のこと
を考えることが大切で、いやだと思うことはかまわず、きりと言うことが大切なことだ
と分かった。

次号『いじめ防止授業～3年生version～』をご紹介します。